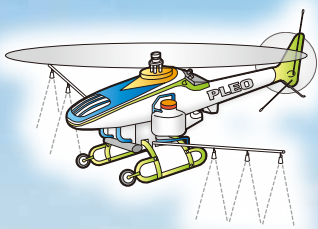


天敵にやさしく。
害虫にキビシイ！



ハスモンヨトウ



プレオフロアブル®

だいたいの害虫防除に ハスモンヨトウに優れた効果を発揮します。
無人航空機による散布でも使えます。





だいの害虫防除に

プレオフロアブル®

農林水産省登録 第21333号

プレオは住友化学(株)の登録商標

殺虫剤分類

UN

有効成分：ピリダリル …… 10.0%

特長

- ① ユニークな作用性 — 従来の殺虫剤とは異なる作用性で、ローテーション散布の基幹剤として有効です。
- ② 優れた殺虫活性と残効性 — 高い殺虫活性と優れた残効性により、作物を害虫から守ります。
- ③ 天敵・有用昆虫に対する影響が少ない — 天敵昆虫などを利用したIPM(総合的病害虫管理)の基幹剤として適しています。

【適用作物・害虫と使用方法】

2023年3月現在の登録内容

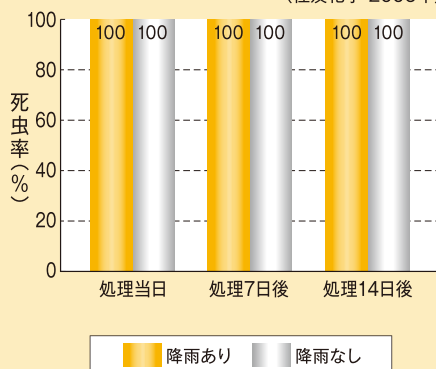
作物名	適用害虫名	希釈倍数	10a当り 使用液量	使用時期	本剤の使用回数 及びピリダリルを含む 農薬の総使用回数	使用方法
だいず	ハスモンヨトウ、マメシキイガ、 シロイチモジヨトウ	1000~2000倍	100~300ℓ	収穫 7日前まで	2回以内	散布
	オオタバコガ、ハモグリバエ類	1000倍				
	ハスモンヨトウ	8~16倍	800mℓ			無人航空機 による散布

上記の他にキャベツ、トマトなどの野菜や花き類、観葉植物、豆類(未成熟)、豆類(種実、ただし、らっかせいを除く)にも登録があります。詳しくは、ラベルなどをご確認ください。

効果

■ハスモンヨトウに対する残効性と耐雨性

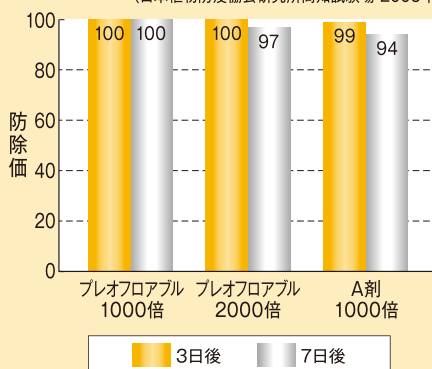
(住友化学 2006年)



供試作物：キャベツ(品種：四季種)
供試虫：ハスモンヨトウ3齢幼虫
区制・反復：1区 10頭・3反復
試験方法：食葉散布
処理日：5月11日
放虫日：5月11日、18日、25日
調査日：5月15日、22日、29日
調査方法：放虫4日後の死亡虫数を調査

■ハスモンヨトウに対する効果(散布)

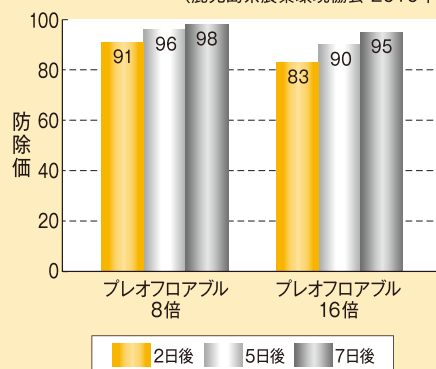
(日本植物防疫協会研究所高知試験場 2003年)



供試作物：だいず(品種：福獅子)
区制・反復：1区 9.6㎡・2反復
散布日：8月4日
発生状況：中→少発生
散布方法：肩掛式動力散布(260ℓ/10a)
調査日：8月7日、11日
調査方法：所定日に各区任意に選んだ100複葉に寄生する虫数を調査

■ハスモンヨトウに対する効果(無人ヘリコプター)

(鹿児島県農業環境協会 2010年)



供試作物：だいず(品種：フクユタカ)
区制・反復：1区 6.8a・3反復
散布日：10月7日
発生状況：中発生
散布方法：無人ヘリ散布(800mℓ/10a)
調査日：10月9日、12日、14日
調査方法：所定日に1区を3分割し、それぞれの区域に発生している幼虫数を調査

【使用上の注意】(抜粋)



- 使用前によく振ってください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないように注意してください。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - ① 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - ② 無人航空機による散布にあつては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③ 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ④ 特定の農業(混用可能が確認されているもの)を除いて原則として他の農業との混用は行わないでください。
 - ⑤ 散布終了後は次の事項を守ってください。
 - ① 使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。
 - ② 使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をさめて保管してください。
 - ③ 機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣等を着用してください。作業後は直ちに手足、顔等を石けんでよく洗い、うがいをして衣服を交換してください。作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

05R3C23P45:Z5

2023年3月作成(全企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP動画
チャンネル
こちら！

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号
お客様相談室 ☎ 0570-058-669
農業支援サイト 農薬力 <https://www.i-nouryoku.com>
住友化学アグロ事業部



住友化学